

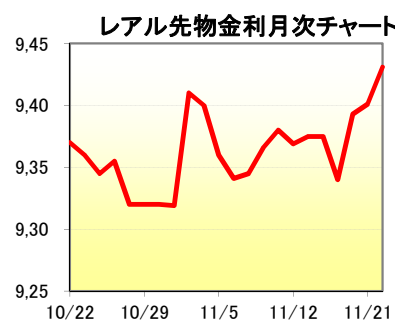
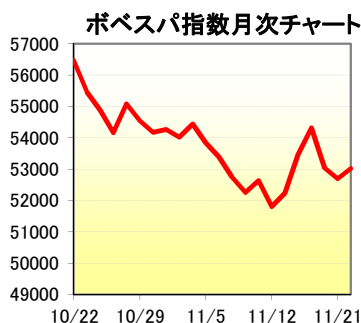
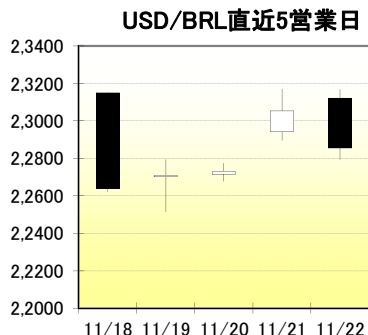
## Banco de Tokyo-Mitsubishi UFJ Brasil S/A



## 1. マーケット・レート

			11月14日	11月18日	11月19日	11月21日	11月22日	Net Chg
Forex	USD/BRL	Spot	2,3210	2,2680	2,2740	2,3060	2,2850	-0,0210
	USD/YEN	Spot	99,98	100,10	100,19	101,06	101,34	+0,2800
	EUR/USD	Spot	1,3463	1,3491	1,3538	1,3426	1,3467	+0,0041
	BRL/YEN	Spot	43,21	44,21	44,12	43,86	44,47	+0,6100
Swap	Dollar Clean	6MTH(p.a.)	1,37	1,44	1,48	1,48	1,37	-0,1119
		1Year(p.a.)	1,76	1,78	1,86	1,86	1,76	-0,1080
	Real Interest	6MTH(p.a.)	10,27	10,24	10,24	10,32	10,32	-0,0049
		1Year(p.a.)	10,69	10,64	10,67	10,78	10,78	-0,0096
Stock	Bovespa		53.452	54.307	53.033	52.688	52.801	+112,72
Bond	CDS Brazil 5y		205,92	191,68	186,25	200,66	201,84	+1,1750
	Global 40		115,500	116,000	115,000	115,250	115,000	-0,2500

\* これらはインターバンク市場等におけるブラジル市場終了時のインディケーションです。実際のレート提示は弊社担当アカウント・オフィサーまでお問い合わせ下さい。



## 2. 主要経済指標

## 3. 要人コメント

イベント	予想	実績	前回	
経常収支	-\$7000M	-\$7132M	-\$2629M	ルセフ伯大統領 空港入札は期待以上に良い結果となった
対内直接投資	\$5250M	\$5362M	\$4770M	

## 4. 週間市況、トピックス

- 今週の為替相場はUS\$1=R\$2.3150で寄り付いた。
- 週初は中国共産党が1990年代以降で最も大掛かりな経済改革を発表、一人っ子政策の緩和や民間投資促進などを打ち出したことが好感され、アジア株式市場を中心にリスク資産の買いが見られた。レアルは寄り付き後リスク資産の買いにつられて一気に買いが優勢となり、2.26台後半まで急伸した。
- 翌19日には11月の独景況感指数が約4年振り高水準に達したことが好感され、リスク資産に買いが見られたほか、大口の資金流入の噂が聞かれるとレアルは週間高値となるUS\$1=R\$2.2510を付けた。しかし、祝日による休場に備えてポジション調整と思しきドル買いが見られるとレアルは2.27台後半まで値を戻した。
- 祝日を挟んだ21日には前日公表された米FOMC議事録が刺激策縮小が予想よりも早まる可能性を示唆したことからドルは対主要通貨で大きく上昇、レアルは一気に週間安値となるUS\$1=R\$2.3170まで売られた。
- 週末にかけては大口の資金流入の噂が聞かれたほか、ブラジル国内の空港入札が行われ予想より強い需要が見られたことが好感されレアルは買いに転じ、2.28台まで反発し、結局US\$1=R\$2.2850で越えた。

当資料は相場情報の提供を唯一の目的としたもので、投資勧誘を目的としたものではありません。投資の最終決定は投資家ご自身の判断でなさるようお願い致します。当資料は信頼できる情報源から得た情報に基づき作成したもので、その情報の正確性、安全性を保障するものではありません。また、過去の結果が必ずしも将来の結果を暗示するものではありません。当資料は執筆者の見解に基づき作成されたものであり、弊社の統一された見解ではありません。当資料を使用することにより生ずるいかなる種類の損失についても弊社は責任を負いません。

## Banco de Tokyo-Mitsubishi UFJ Brasil S/A



## 5.来週発表される主要経済指標

日付	イベント	期間	予想	前回
11/25	FGV消費者信頼感	Nov	--	111.7
11/25	FGV CPI IPC-S	nov/24	0.67%	0.64%
11/25	貿易収支(週次)	nov/24	--	\$808M
11/26	FGV建設コスト(前月比)	Nov	--	0.33%
11/27	FIPE CPI-週次	nov/22	--	0.55%
11/27	SELICレート	46692	10.00%	9.50%
11/28	FGVインフレIGPM(前月比)	Nov	0.32%	0.86%
11/28	FGVインフレIGPM(前年比)	Nov	5.63%	5.27%
11/28	PPI 製造業(前月比)	Oct	--	0.62%
11/28	PPI 製造業(前年比)	Oct	--	5.86%
11/28	ローン残高(前月比)	Oct	--	0.8%
11/28	融資残高	Oct	--	2598B
11/28	個人ローン・デフォルト率	Oct	--	7.0%
11/28	Private Banks Lending	Oct	--	1282B
11/28	中央政府財政収支	Oct	7.0B	-10.5B
11/29	純債務対GDP比	Oct	--	35.0%
11/29	Nominal Budget Balance	Oct	--	-22.9B
11/29	基礎的財政収支	Oct	--	-9.0B

## 6.来週の為替市場注目点

予想相場レンジ：2.25－2.35

今週は週初にブラジル市場が祝日で休場となる日もある中、リアル相場の取引量は多くボラティリティーも高い展開となった。中国の経済改革を受けてリアル買いが見られた一方で、米 FOMC 議事録の発表を受けて資産購入縮小が早まるとの思惑からリアル売りも見られ、リアル相場の方向感定まらない状態である。来週は国内では年内最後の伯金融政策委員会 (COPOM) の開催が予定されており、0.50%の利上げが予想される。声明からは伯中銀のインフレに対するスタンスのほか、来年にかけての利上げサイクルに対するヒントが出されるかどうか注目が集まるであろう。選挙を控えてインフレ上昇率が重要視される中、来年にかけても利上げが見られると予想されるが、利上げによる利子負担増加懸念も強まるだろう。場合によっては格付け会社による格下げの原因にもなるため、今後の利上げサイクルと財政再建の動向から目が離せない。海外では重要な経済指標やイベントが少ないほか、米国では祝日のため休場となる日がありリアル相場を動かす材料に乏しい展開となろう。しかし、同時にリアル相場の流動性も低下することが予想されることから、ボラティリティーは引き続き高いことが予想されるため、注意が必要であろう。

当資料は相場情報の提供を唯一の目的としたもので、投資勧誘を目的としたものではありません。投資の最終決定は投資家ご自身の判断でなさるようお願い致します。当資料は信頼できる情報源から得た情報に基づき作成したのですが、その情報の正確性、安全性を保証するものではありません。また、過去の結果が必ずしも将来の結果を暗示するものではありません。当資料は執筆者の見解に基づき作成されたものであり、弊社の統一された見解ではありません。当資料を使用することにより生ずるいかなる種類の損失についても弊社は責任を負いません。

Banco de Tokyo-Mitsubishi UFJ Brasil S/A Treasury Department